

諸外国における国家安全保障戦略

平成25年9月12日
外務省

1. 国家安全保障戦略とは

- 外交・安全保障政策全般に関する戦略をまとめた包括的文書として米、豪、英、韓等が作成。同文書で示された基本方針の下、国防戦略など各論の文書が作成されている。

- 各国とも、
 - ① 「国家安全保障」の概念を幅広く捉え、自らの国家像に照らして目指すべき国家安全保障上の目標(国益)を掲げつつ、
 - ② 将来の一定期間にわたり直面する安全保障上の課題(環境変化・リスク)を特定・分析した上で、
 - ③ 今後取るべき具体的方策を示している。(外交・防衛上の取組を中心としつつ、テロ対策や経済政策にも言及)

2. 各国の国家安全保障戦略

| | 米 | 豪 | 英 | 韓 |
|------|--|--------------------------|--|---|
| 策定主体 | 国家安全保障会議 | 首相府 | 国家安全保障 会議 | 大統領府 |
| 対象期間 | なし ※1987年に初めて 策定。 (ブッシュ前政権で は、2002年及び 2006年に公表) | 10年 ※2013年に初 めて策定。 | 5年 (2010-2015) ※2010年にNS Cとして初めて 策定。 | なし ※2008年12月に李 明博前政権により発 表された「100大国 政課題」をベースに、 2009年3月、李明 博前政権(~2013 年2月)の安全保障 戦略として策定。 |
| 分量 | 60頁 (2010年版) | 58頁 | 39頁 | 37頁 (2009年版) |

2. 各国の国家安全保障戦略：米国①

1. 米国の国家安全保障戦略(2010年版)の特徴

(全60頁)



- 米国の基本戦略として、米国の国力と影響力を構築することで、21世紀の課題を克服できる国際秩序の形成を目指すことを明示。
- 米国のリーダーシップの再構築により、米国の国益を効果的に増進するが、そのためには、リーダーシップの強力な基盤(特に経済)の再構築が重要との認識を示しつつ、様々な国々との協力・連携を、安全保障上の課題への取組の起点と位置付け。このアプローチを達成するため、国家の様々な要素の効果的な活用と統合が必要と説明。
- 米国民の安全確保を国家安全保障上の最優先事項とするとともに、米国は国際的な安全保障を促進する責務を負うとした上で、大量破壊兵器、特に暴力的過激主義者による核兵器攻撃が最も深刻な脅威の認識を示し、核兵器のない世界を追求し、核兵器の拡散防止と核物質の安全確保を強化することを表明。
- 国力の全ての要素を動員して、安全保障上の能力を刷新することを明示。
- 下記の点を明示していることが、オバマ政権による現行戦略の特徴として指摘可能。
 - ①抑止力を維持しつつも、米国の核兵器を削減すること。
 - ②深刻な人道危機に際し米国が武力の行使をすることがあり得ること。
 - ③米単独での武力の行使の権利を留保しつつも、まずは他の選択肢を尽くすこと及びその行使に当たっては、国際基準を遵守すること。
 - ④米国の価値の推進において拷問を拒絶していること。

2. 各国の国家安全保障戦略： 米国②

2. 構成

(国家安全保障戦略の概観に引き続き、以下を記載。)

1. 戦略的アプローチ

□米国の不朽の利益

①米国・同盟国等の安全保障、②強力な米国経済、③普遍的価値観、④国際秩序

□戦略環境

- 冷戦後のグローバル化の進展に伴い様々な課題が生起。
- テロリズム、大量破壊兵器、宇宙・サイバー、気候変動、破綻国家、国際犯罪ネットワーク等に関する脅威が存在。
- グローバル経済の再形成が進み、国際社会には影響力を有する様々な国家が出現。

□戦略的アプローチ：米国が追求する世界

(1) 基盤の構築

- 米国の国力の源泉は国内にあり、その最大の基盤たる国家の経済的繁栄を取り戻す。人権や民主主義等の価値もそうした基盤の構成要素の一つ。

(2) 包括的関与の追求

- 様々な国々、機関、人との関係構築に努める。関与は友好国と同盟国との協力が起点。敵対する政府には、国際規範の遵守による利益を得るか、その拒否による孤立を受け入れるかを迫る。
- 関与政策を成功させるため、外交、軍事力、経済等のあらゆるリソースを活用する。

(3) 適切かつ持続可能な国際秩序の促進

- 国際機関や枠組みの近代化(G8からG20への変革等)への支援を拡大。

2. 各国の国家安全保障戦略： 米国③

2. 米国の利益の増進

米国が求める世界の実現のため、国家利益を追求する際には、戦略的アプローチを適用しなければならない。

- (1) 安全保障: 核拡散の脅威、非対称的脅威(宇宙・サイバー等)、軍事力乱用の弊害に対処するとともに能力維持、紛争予防等に取り組む必要がある。
- (2) 繁栄: 米国のリーダーシップの基盤は、繁栄したアメリカの経済にある。
- (3) 価値: 米国は、人権、言論の自由等の普遍的価値を信じており、世界中で推進する。
- (4) 国際秩序: 従来からの国際的アーキテクチャーは、国境をまたぐ新たな脅威の下で崩れつつあり、新たな機会をつかみにくくなっている。伝統的な同盟関係の上に、新たな影響力を有する国々との関係を開拓することが必要。
 - ✓ 強力な同盟の維持
 - ✓ 21世紀に影響を有するその他の国々との協力の構築
 - ✓ 協力のための機構とメカニズムの強化(国連、G20)
 - ✓ 主要なグローバル課題における広範な協力の維持
(気候変動問題への対応、平和構築、軍事紛争の解決、感染症対策、国境をまたぐ犯罪の脅威への対処、グローバルコモンズの活用)

2. 各国の国家安全保障戦略：豪州①

1. 豪州の国家安全保障戦略の特徴

- アジア太平洋地域への経済的及び戦略的な重点の移動を重視し、今後10か年にわたる安全保障の方向性を提示。

※なお、同戦略は、12年10月に発表された「アジアの世紀における豪州白書」において示された、アジアにおける持続可能な安全保障の実現という豪州の目的を達成するための道筋を示すものとして策定。

- 豪州の国家安全保障上の目標として、以下4つを提示。

- ①国民の安全と強靱性の確保、②主権の保護・強化、
- ③財産・インフラ・機構の保護、④好ましい国際環境の促進

- 今後10年の豪州を取り巻く戦略環境は概ね肯定的であるが、地域内の緊張やテロの脅威には留意が必要として、グローバルな傾向を提示した上で、今後5年間の優先課題を提示。

- 豪州にとっての主なリスクを示した上で、豪州の安全保障上の目標達成のための8つの柱を明示。



(全58頁)

2. 各国の国家安全保障戦略：豪州②

2. 構成

1. 豪州の安全保障の目的

2. 豪州を取り巻く戦略環境の変化

3. 豪州の国家安全保障の柱

□国家安全保障上の目標を達成するための8つの柱

- ①テロ・諜報・外国の干渉への対処
- ②豪州とその国益への攻撃の抑止・排除
- ③国境の保全
- ④重大な組織犯罪の防止・探知・根絶
- ⑤国益に資する安全な国際環境の促進
- ⑥国民・財産・インフラ・機構の強靱性の強化
- ⑦豪米同盟の強化
- ⑧国際社会、特にアジア太平洋地域における理解促進と影響力の確保

4. 国家安全保障概観

□戦略環境評価：

今後10年の戦略環境は概ね肯定的。ただし、地域内の緊張やテロの脅威には留意が必要。

□豪州に影響を与える将来動向：

①世界経済の不確実性、②世界規模のリバランシング、③非国家主体の重要性、④高リスク地域での低強度紛争

5. 豪州の安全保障上の焦点

□上記3. の「8つの柱」に関し、具体的な対応を記述。

□**短期的な課題**：アフガニスタン支援、国連安保理対応(2013-14:非常任理事国)。

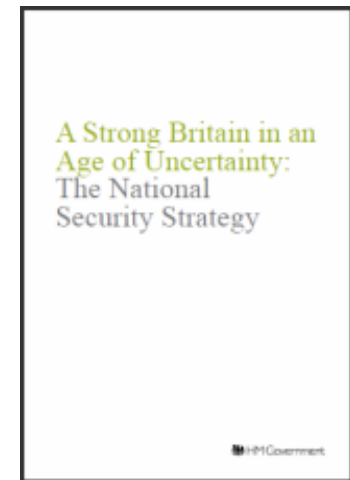
□**今後5年間の優先課題**：

- ①アジア太平洋地域への関与強化
- ②統合されたサイバー政策及び作戦の統合
- ③効果的なパートナーシップの構築

2. 各国の国家安全保障戦略：英国①

1. 英国の国家安全保障戦略の特徴

- 世界の中での英国の位置・役割に言及した上で、英国の中核的な戦略目標として、①安全で強靱な英国の確保、②安定した世界の形成を明示。
- 英国の国家安全保障へのリスクを評価・分類。最優先に対処すべきリスクとして、国際テロ、サイバー攻撃、大規模事故・自然災害、国家間の軍事危機、を特定。
- 課題への対処の具体的なアプローチ(軍事・外交・法執行)については、同時に刊行された「戦略的国防・安全保障見直し」(同じく国家安全保障会議で策定)で詳述。



(全39頁)

2. 各国の国家安全保障戦略：英国②

2. 構成

1. 戦略的背景(情勢認識)

2. 英国特有の役割

□世界における英国の位置：

- 強い経済が安全保障の基盤。
- 世界的ネットワークの中心としての英国(経済・教育、歴史的紐帯、言語等)。
- 国際社会における英国の役割(NATO、G8、G20、国連、EU等)
- 英国の開放性は、リスクにも繋がる。

□上記を踏まえ、以下の戦略的目標を追求：

- ①安全で強靱な英国の確保、②安定的な世界の形成

3. 英国の安全保障へのリスク

□国家安全保障リスク評価

- 主要な国家安全保障上のリスク分野について、蓋然性と影響の程度を分析。
- 15のリスク分野を列挙した上で、英国が最優先で対処すべきリスクは、①国際テロ、②サイバー攻撃、③大規模事故・自然災害、④国家間の軍事危機、としている。

4. 英国としての対応

□国家安全保障上の課題

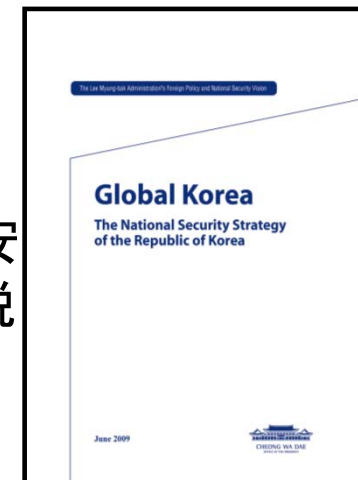
戦略的目標達成のために取り組む事項として以下を列挙。

- (1) 国家安全保障上のリスクと機会の特定
- (2) 不安定性の根本原因への対処
- (3) 機会活用とリスク管理のための影響力行使
- (4) 国内法執行と国際規範強化
- (5) 国家及び非国家主体からの脅威への対処
- (6) 紛争解決と安定への貢献(必要な場合は、介入や実力の行使を含む)
- (7) 緊急事態への準備、復旧能力の提供
- (8) 同盟国・パートナー国との協力

2. 各国の国家安全保障戦略：韓国①

1. 韓国の国家安全保障戦略の特徴

- 李明博政権の「100大国政課題」の中に含まれている外交・安全保障政策について、国際情勢認識を含めて具体的内容を説明したもの。
- 世界の中での韓国の位置・役割に言及した上で、目指すべき国家像として「成熟した世界国家」である「グローバル・코리아」を設定。
- 従来 of 朝鮮半島重視・北朝鮮核問題重視の安全保障戦略から脱却し、経済・文化・環境などの要素も含めた包括的な戦略を提示。
- 戦略目標として、①共存共栄の南北関係の樹立、②協力的ネットワーク外交の拡大、③エネルギー安保や開発援助政策を含む包括的外交政策の推進、④先進的な防衛システムの構築、の4項目を列挙し、具体的な政策を明記。



(全37頁)

2. 各国の国家安全保障戦略：韓国②

2. 構成

1. 国際安全保障環境と脅威の変化(情勢認識)

①安全保障上の脅威の多様化、②国益確保と価値観普及の並行的追及の必要性、③世界経済の不安定さ、④国際的影響力の源泉の多様化、の4点が今後韓国が直面する国際環境の特徴。

2. 李明博政権の外交・安全保障政策(理念)

□ グローバル・コリアに向けて:

- 国際社会の課題に対して協力するだけでなく、解決策を提示する韓国を作る。

□ グローバル・コリアの核心的価値:

- 平和と正義、共栄、グローバリズムを核心的価値として、韓国にとって望ましい国際環境を形成。

□ 創造的実用主義の原則:

- 冷静・緻密な情勢評価、実践可能で具体的な計画策定、投資効果の最大化を柱とした政策立案。

3. 戦略目標と重要課題

□ 共存共栄の南北関係の樹立

- 朝鮮半島の非核化、南北経済共同体の推進、南北社会文化共同体の基盤整備、人道問題協力など

□ 協力的ネットワーク外交の拡大

- 21世紀米韓戦略同盟の深化、北東アジア多国間協力システムの構築、欧州・中東などを含めた世界規模でのパートナーシップの拡大など

□ 包括的かつ実践的な外交政策の推進

- エネルギー外交強化、FTAの多角化、ODAやPKOなどを通じた国際貢献の拡大など

□ 先進的な防衛システムの構築

- 米韓協力体制の強化や情報・技術集約型の軍構造構築を通じた先進防衛能力の拡充、日中露など周辺国との協力拡大、サイバー・公衆衛生、気候変動、自然災害などへの包括的対応能力の確保など